



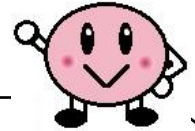
EGOTAN通信

—江古田小学校 研究だより—

平成29年7月18日
中野区立江古田小学校
研究推進委員会
第3号



研究主題 自分の考えをもち 学び合う 算数学習
—集団検討の場を通して—



第3回研究授業報告～7月12日(水)～

第6学年 単元名「およその面積を求めよう」

授業者：笠原駿

講師：元東京都小学校算数教育研究会会長 元練馬区立大泉小学校長 青柳 偕行 先生

【本時のねらい】

身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることで面積を求められることを理解する。

【授業のポイント】

これまでに学んだ図形を生かして、身の回りにある形の概形をとらえていきます。その際に、2つの形を比べるという目的を明らかにし、時間を設定することで、時と場合に応じた選択が必要であることに気付かせていきました。また、身近な江古田の森公園や哲学堂公園を教材化する事で、興味関心を高めました。



三人で協働的に活動して概形を捉えました。



全ての考えを一斉に見て話し合うことで目的と時間に応じて、概形を捉える必要があることに気付いていきました。



前半に必要な事を押さえて学習を進めました。

【児童のワークシート】

実際の公園を、これまで学んだ図形や知識を生かして概形としてとらえています。



【講師の松山先生より】

本単元は、これまで学んだ事を生かして概形を捉えていく単元になる。教科書は全国版であり、時間数も少ないことから力を入れない事が多い学習になってしまう。しかし、今回地域の教材化を図った事で児童の意欲を高める事ができた。今後も江古田小学校の財産にして欲しい。授業に関しては児童の捉えた概形は視覚的に分かりやすくペン等で引くと良かった。また、本時のめあては概形を捉えることなので、複雑な計算を児童に求めるなら電卓を早い段階で渡す事、縮尺は含まずに児童の活動の時間を増やしても良かった。話し合いの場面ではまとめにつなげるために、適切なキーワードを板書していく必要があった。

様々なご指導をいただきました。今回の研究授業を通して、より一層、授業力向上に努めていきます。



④
次回の校内研究は、
9月20日(水)
3年生の授業です。